

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価対象事業	都整 - 33	公園維持管理事業	☐ 法定受託事務				
所管課	都市整備部 みどり公園課		評価者	みどり公園課長 池田 正			
一般	会計	款	45	項	20	目	20
総合計画上の位置付け	分野名	みどり		施策の方針名	都市公園の整備・管理		

1 事業の目的

対象	市民等	意図	公園緑地等の適切な維持管理を図るため。
効果	適確な施設管理を行うことにより良質な公園の形成を図る。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業（事業終了予定年度：年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	都市公園管理事業、笛田公園管理事業、広町緑地管理事業、児童遊園管理事業、都市公園等維持修繕事業	都市公園管理事業、笛田公園管理事業、広町緑地管理事業、児童遊園管理事業、都市公園等維持修繕事業	都市公園管理事業、笛田公園管理事業、広町緑地管理事業、児童遊園管理事業、都市公園等維持修繕事業
予算額（千円）	598,856	525,527	
国県支出金			
地方債	99,900	54,500	
その他	35,508	13,989	
一般財源	463,448	457,038	0
当初人員配置数	4.0	4.0	0.0
人件費（千円）	0	0	0
事業実績	都市公園管理事業、笛田公園管理事業、広町緑地管理事業、児童遊園管理事業、都市公園等維持修繕事業		
決算額（千円）	527,985		
国県支出金			
地方債	70,600		
その他	28,894		
一般財源	428,491	0	0
人員配置実績数	4.0	0.0	0.0
人件費（千円）	0	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7 (上段実績、下段経費（千円）)	R8	R9
活1	指標名 公園施設長寿命化計画に基づく公園施設の修繕及び更新率	%	37.6	100	56.54		
	実績につながる活動 良好な公園の維持管理を図るため、公園施設長寿命化計画に基づく修繕等を行った。				8,712		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	活動結果指標（アウトプット）の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	公園施設長寿命化計画に基づく施設の更新修繕を行ったことで、使用禁止遊具の減少につながったと考えている。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果 指標No （最大3つ）
成1	公園施設の不具合に起因する事故・要望数	件		↓	84			2 3

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	事業実施により、使用禁止の公園遊具数が減少した。 なお、成2の初期値は令和7年11月に実施した鎌倉市民意識調査の結果としているため、令和7年度の事業実施による成果は不明である。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	公園施設長寿命化計画に基づく公園施設の修繕と更新を安定的に行うことにより、使用禁止の公園遊具数が減少すると考えている。

5 評価結果

評価	妥 当 性	事業に対するニーズ	☒ 増えている ☐ 変わらない ☐ 減少している			
		事業実施の主体となるべき者	☐ 市 ☐ 国・県 ☒ 民間事業者 ☐ なし			
	有 効 性	事業の成果	☐ 十分に出ている ☒ 概ね出ている ☐ 出していない			
	効 率 性	事業費削減余地	☐ ある ☒ なし			
		関連・類似事業との統合	☐ できる ☒ できない			
	公 平 性	受益者負担	☐ 導入済 ☐ 導入予定 ☒ 導入できない			
方向性	評価実施年度の方向性 ⇒		評価実施翌年度以降の方向性			
	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り ⇒ ☒ ① 事業内容は現状通りとする				
		☐ 事業内容は見直し済 ⇒ ☐ ② 事業内容は見直す → ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他				
		☐ 事業を休止又は廃止済 ⇒ ☐ ③ 事業は休止又は廃止する				
		☐ 他事業と統合済 ⇒ ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する → 事業へ統合				
予算規模の方向性	☒ 予算規模は現状維持 ⇒ ☒ ① 予算規模は現状維持とする					
	☐ 予算規模は拡大済 ⇒ ☐ ② 予算規模は拡大する					
	☐ 予算規模を縮小済 ⇒ ☐ ③ 予算規模は縮小する					
今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応		結果		具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果		前年度は新たな課題なし			
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題		新たに認識された課題はなかった			
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性		新たに認識された課題はなかったため検討なし			
	総評	都市公園の維持管理を行うことで、市民等に利用される公園を維持することができた。				上位施策への寄与度 A

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	公園の規模、利用目的等が自治体ごとに異なる（一律ではない）ため、維持管理水準やコスト等の単純比較により事業の妥当性を判断することは困難であると考えている。
----------------------	---